校内研修「道徳科の授業づくり」のミニ研修コンテンツ活用事例

１　読み物教材　小学校中学年②「雨のバス停留所で」

２　参　加　者　小学校教職員６人

３　研修形態　グループ（１グループ３人）

□　コンテンツを活用した際の研修の成果など

|  |  |
| --- | --- |
| ①　演習で出された中心発問（○）設定の理由（・）留意点（※） | ○　よし子が傘をつぼめてバスに乗ろうとしたとき、お母さんが連れ戻したのはなぜだろう（怒ったのはなぜだろう）。・児童に、お母さんの気持ちを自分ごととして考えさせたいため。・荷物があるので座りたいという思いと、順番を守ることの葛藤場面を大切にしたいため。※　児童の心情に沿って考えさせる発問を検討する必要がある。 |
| ②　受講者の声（○） | ○　演習をする際に、本時のねらいが示されていると中心発問を考えやすい。○　説明スライドはとても参考になった。○　道徳的価値など、難しい言葉や内容が多く理解しにくい場面があった。授業を一層充実させるために、学習指導要領について理解を深めることが大切であると感じた。○　普段、他の先生方と発問について交流することがなかったため、とても貴重な時間だった。また、交流を通して、他の先生方の授業観を知ることができた。○　「道徳的諸価値の理解」の“諸”について、説明が具体的で分かりやすかった。人間理解や他者理解等を意識することで、様々な視点から授業の流れや発問について検討することができると感じた。 |
| ③　成　果（○） | ○　道徳科が教科化された背景、ねらいや目標などを理解することができた。○　教科化のスタートに当たり、最初に学んでおきたい内容であった。○　他の教員と交流する場面があることで、様々な人の考え方や知恵を聞くことができるとともに今後の実践に役立てることができた。 |
| ④　課　題（●）改善策（・） | ●　自分の課題を設定する場面があるが、設定した課題についての説明等がなかったので、自分の課題を設定する意義が分かりにくい。・研修担当者が研修内容に係る課題を設定するよう促したり、課題設定の時間を演習の時間に充当したりするなどの工夫が考えられる。 |

□　校内研修の様子

